

平成26年度・新規就農者激励会（平成26年5月7日）



若手就農者に
「失敗の勧め」

恵庭で5人に激励会

【恵庭】道央農協と道央農業振興公社は7日、新規就農者や若手の後継者を対象とした激励会を恵庭市内の同公社で開いた。恵庭と千歳、江別、北広島で新たに就農した5人が出席し、今後の抱負を語った。

激励会は、地域をあげて若手農業者を支えようとして



激励状を受け取る新規就農者

010年から開いている。道央農協管内では今年、16歳から40歳の16人が就農。激励会には、このうち浜名哲士さん(北広島)、岡村喬士さん

ん(江別)、森田芳貴さん(同)、今誠さん(千歳)、松谷康生さん(恵庭)が出席した。道央農協の松尾道義組合長は、一人一人に激励状を手渡し「失敗を財産とし、一人前の農業者になつてください」とエール。就農者代表の浜名さんは「皆さんの力を借りながら、精いっぱい頑張りたい」と力強くあいさつした。

(斉藤千絵)

「失敗は貴重な財産に」

J A道央と道央農業公社 新規就農者を激励



新規就農者に激励状

J A道央(松尾道義組合長)、道央農業振興公社(同理事長)は7日、新規就農者激励会を恵庭市西島松の同公社で開いた。恵庭、千歳、北広島、江別の新規就農者5人が出席し、松尾組合長が「体を大事に頑張つて」とエールを送った。

松尾組合長は「最初は苦労するが、失敗が5年後、10年

後の貴重な財産になる。教えられて覚えるものではない。臆することなく、大きく取り組んで」と激励。来賓の西村正晃(狩野農業改良普及センター)所長も「農業は植物、動物の力を最大限に引き出し、経営者の側面も持っている方能選手。やりがいのある仕事」と祝辞を述べた。

激励会は2013年度、14年4月に新規就農した、新規

学卒者、Uターン者、新規参入者の計16人を対象に開いた。同J Aや同公社、公社管内の4市の関係者ら約30人が見